

平成 22 年 6 月 28 日
高知労働局発表

担 当	高知労働局労働基準部
	安全衛生課長 江口 勇次 主任産業安全専門官 山中 敏秀 電話 088 - 885 - 6023

平成 21 年の労働災害による死亡者は前年より 8 人増加！

～平成 21 年の高知県における労働災害発生状況及び

第 83 回全国安全週間の実施について～

1 死亡災害発生状況

- ・ 平成 21 年の高知県における労働災害による死亡者数は 14 人で、前年より 8 人増と大幅に増加しました。
- ・ 業種別では、建設業、林業及び製造業が各 3 人、第 3 次産業が 2 人、鉱業、運輸業及び漁業が各 1 人となっています。
- ・ 事故の型別では、「交通事故」が 3 件、「墜落・転落」、「激突され」、「はさまれ・巻き込まれ」が各 2 件、「転倒」、「飛来・落下」、「崩壊・倒壊」、「有害物等との接触」、「火災」が各 1 件となっています。

2 休業 4 日以上之死傷災害発生状況

- ・ 平成 21 年の高知県における休業 4 日以上之死傷災害は 990 件と、前年よりも 57 件少なく、初めて 1,000 件を下回りました。長期的にみますと減少傾向は継続しています。
- ・ 業種別では、第 3 次産業が 41.1%、製造業が 22.1%、建設業が 14.7% となっており、第 3 次産業が占める割合が高くなっています。
- ・ 事故の型別では、「転倒」が 17.6%、「墜落・転落」が 15.4%、「はさまれ・巻き込まれ」が 13.7% で、災害全体の 46.7% を占めています。

3 高知労働局の取り組み

労働安全衛生法令の遵守を徹底することはもとより、第 11 次労働災害防止計画に基づき、墜落・転落災害防止対策や機械設備等に係る労働災害防止対策の徹底、職場の危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）の普及促進等を図ることとしています。

4 全国安全週間（7 月 1 日～7 月 7 日）

全国安全週間は、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的とし

て、昭和3年から実施しており、本年度で第83回を数えます。

労働災害を一層減少させるためには、労使が一体となって職場における機械設備、作業等による危険を自主的に洗い出して（リスクアセスメント）その危険をなくし、安全・安心な職場を目指していくことが必要であることから、

「みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心」をスローガンとして実施されます。

1 平成21年における死亡・休業4日以上之死傷災害発生状況等の概要

(1) 労働災害による死亡者数の推移【図1参照】

高知県の労働災害による死亡者数は、昭和31年の91人をピークとして長期的には減少していますが、平成21年の労働災害による死亡者は14人と、平成20年の6人と比較し8人の大幅増加となりました。

(2) 死亡災害の業種別発生状況【図2参照】

高知県の業種別死亡者数は、平成20年と比較すると、製造業及び林業が3名、漁業及び鉱業が1名増加しました。建設業、運輸業及び第3次産業では横ばいとなりました。

製造業における死亡者数は3人で、平成20年と比較して3人増加しました。

建設業における死亡者数は3人で、平成18年以降同数となっています。

林業における死亡者数は3人で、平成20年と比較して3人増加しました。

運輸業における死亡者数は1人で、平成20年と比較すると同数となりました。

第3次産業における死亡者数は2人で、平成20年と比較すると同数となりました。

(3) 死亡災害の事故の型別発生状況【図3参照】

事故の型別の死亡者数は、「交通事故」が最も多く3人で、「墜落・転落」、「激突され」、「はさまれ・巻き込まれ」がそれぞれ2人、「転倒」、「飛来・落下」、「崩壊、倒壊」、「有害物等との接触」、「火災」がそれぞれ1人となっています。

主な業種のうち製造業では、「転倒」、「激突され」、「有害物との接触」がそれぞれ1人、建設業では「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「火災」がそれぞれ1人、林業では、「激突され」、「飛来・落下」、「崩壊、倒壊」がそれぞれ1人となっています。

(4) 労働災害による休業4日以上之死傷災害の推移【図1参照】

高知県における労働災害による休業4日以上之死傷者数は、長期的には減少を続けており、平成21年には初めて1,000人台を下回り、990人と過去最少となりました。

(5) 休業4日以上^の死傷災害の業種別発生状況【図4参照】

休業4日以上^の死傷災害を業種別にみると、第三次産業が407人で最も多く、次に製造業が219人、建設業が146人、林業が110人となっています。平成21年と比較すると、建設業で46人、製造業で42人の大幅な減少がある一方、第三次産業では69人の増加となっています。

(6) 休業4日以上^の死傷災害の事故の型別発生状況【図5参照】

事故の型別では、「転倒災害」が17.6%と最も多く、次いで「墜落・転落災害」の15.4%、「はさまれ・巻き込まれ災害」の13.7%となっています。

また、業種別にみると、建設業では「墜落・転落」、林業では「切れ・こすれ」、運輸交通業では「墜落・転落」、第三次産業では、「転倒」が最も多い事故の型となっています。

2 第83回 全国安全週間主要行事

高知県内で行われる主な行事は次のとおりです。

平成22年度「安全衛生に係る厚生労働大臣表彰」伝達式

日時： 7月1日(木) 11:00～

場所： 高知労働局〔高知市南金田1番39号〕

受賞者： 功績賞 まちだ けんいち 町田 健一 氏

医療法人野並会高知病院呼吸器内科医長

第46回 高知県建設業労働災害防止大会

(建設業労働災害防止協会高知県支部主催、高知県・高知労働局後援)

日時： 7月1日(木) 13:30～

場所： 高新RKCホール〔高知市本町3丁目2-15〕

内容： 第1部

優良事業場・個人表彰

第2部

事例発表

「建設現場に於ける“リスクアセスメントの効果的な運用”」

～道改国第5-1-1号国道441号道路改築(網代トンネル2工区)工事～

講師 ㈱轟組・生田・田邊建設共同企業体 統括所長 福田 泰水 氏

講演

「地場店社が取り組む労働安全衛生マネジメントシステム」

講師 建設業労働災害防止協会高知県支部 事務局長

田内 孝也 氏

第 46 回 全国安全週間安芸地区大会

(安芸労働基準協会主催、安芸労働基準監督署後援)

日時： 7月2日(金) 14:00～

場所： 田野町ふれあいセンター〔安芸郡田野町1828-5〕

内容： 表彰 優良事業場・優良管理者・優良従業員

事例発表

「安全対策についての取り組み」

講師 ダイドー・タケナカビバレッジ(株)

製造部長 黒岩 円 氏

特別講演

「中岡慎太郎と野根山二十三士の「志」について」

講師 中岡慎太郎館

学芸員 豊田 満広 氏

第 33 回 須崎地区安全衛生大会

(須崎労働基準協会主催、須崎労働基準監督署後援)

日時： 7月5日(月) 12:50～

場所： 須崎市立市民文化会館〔須崎市新町2丁目7-15〕

内容： 表彰 優良事業場・優良従業員

事業場発表

「メッセンジャーワイヤー取出し作業安全化」

講師 (株)四電工須崎営業所 住友大阪セメント作業所

「ライトもん太」サークル

特別講演

「南海地震に備える」

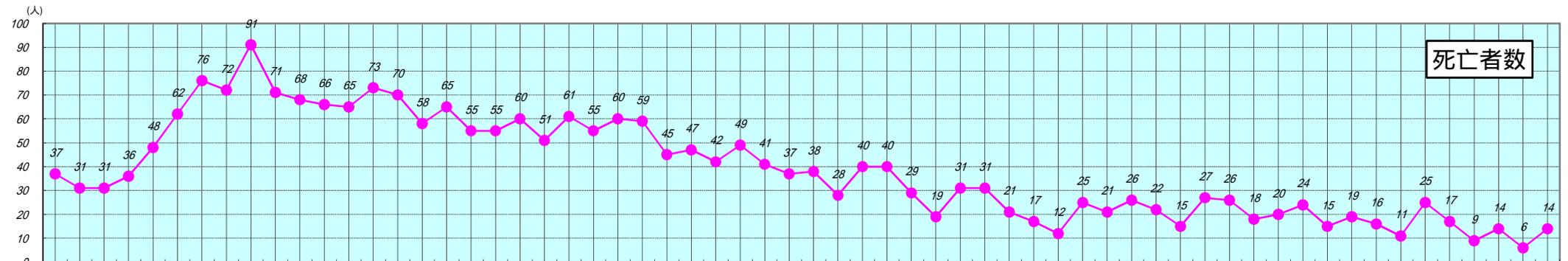
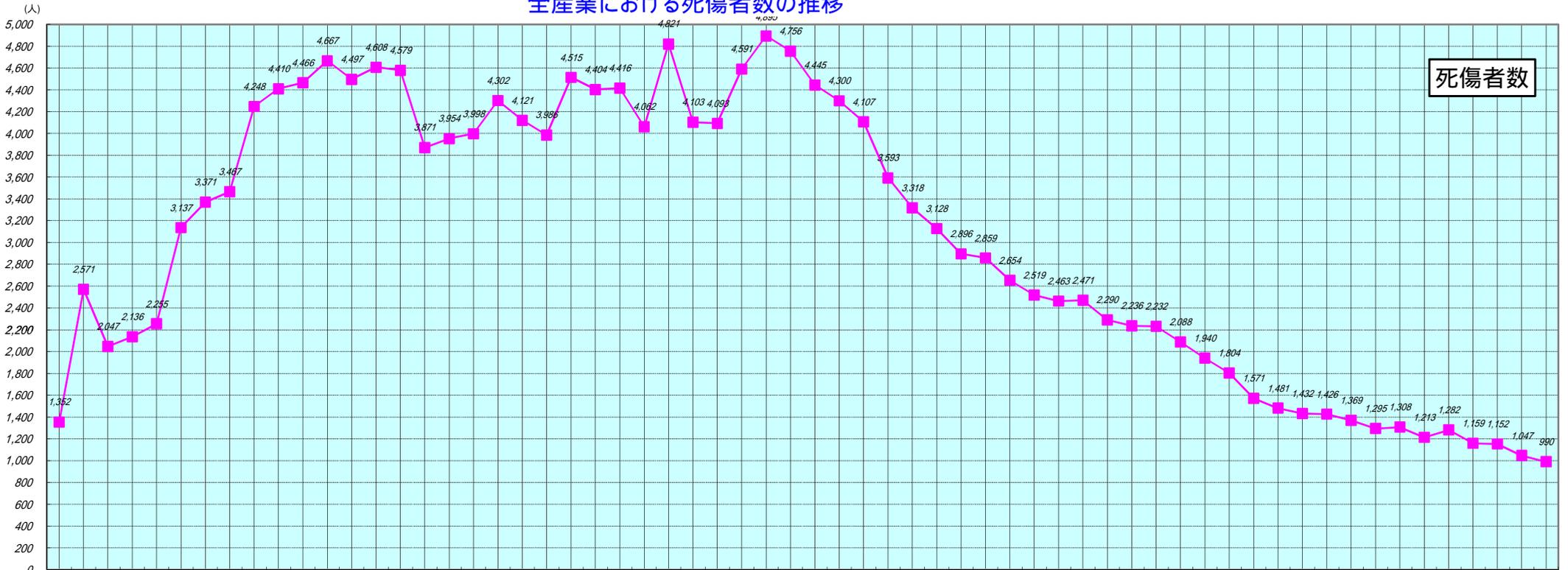
講師 高知大学理学部災害科学講座

教授 理学博士 岡村 眞 氏

図1 労働災害の発生状況

高知労働局管内の労働災害による死傷者数(休業4日以上)は、長期的にみると減少傾向にあります。死亡者数は近年増減を繰り返しています。

全産業における死傷者数の推移



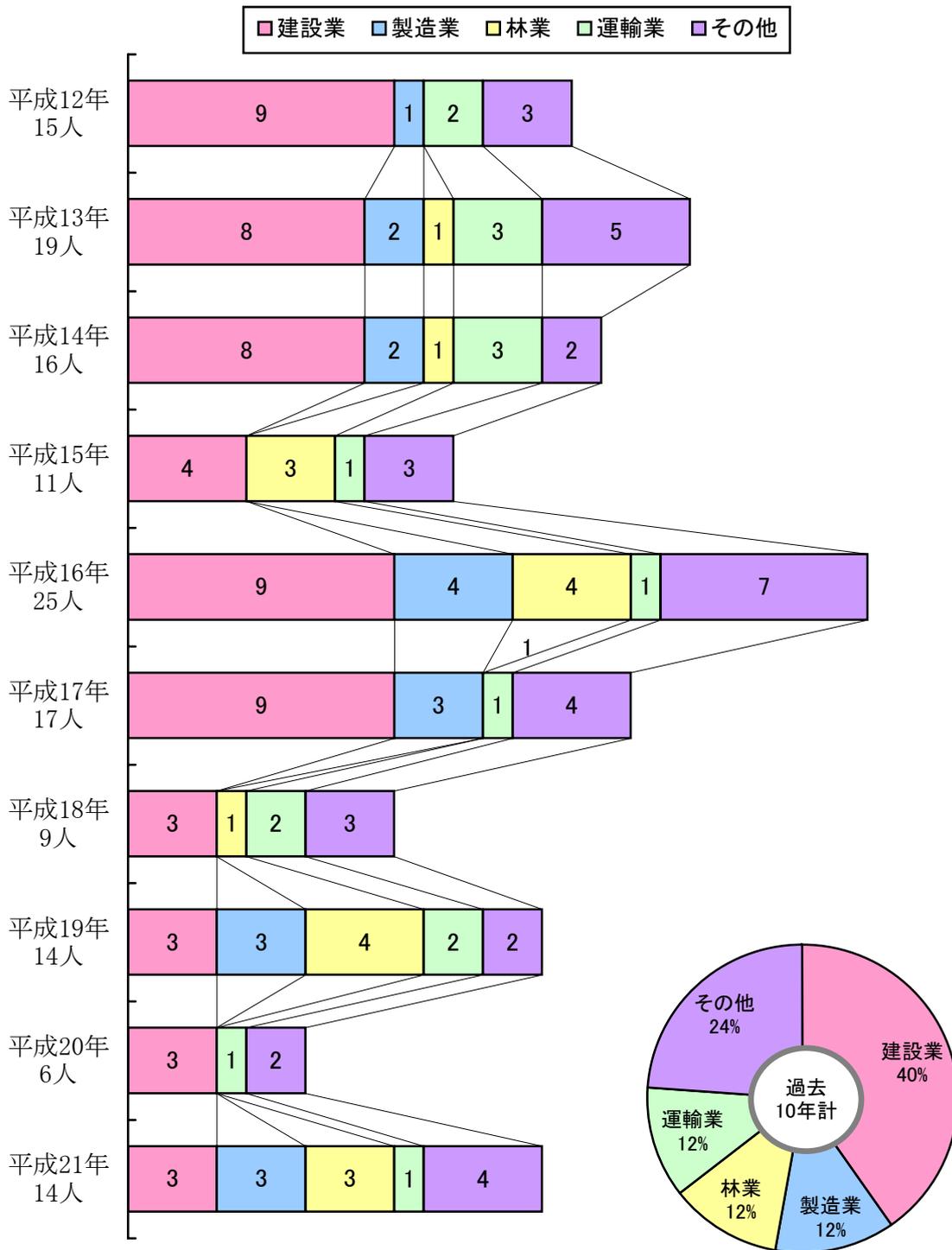
(昭和23年～平成16年の死傷者数は労災保険データ、平成17年～21年の死傷者数は労働者死傷病報告による。また、昭和23年～昭和47年の間は休業8日以上のデータである。)

図2 死亡災害の業種別発生状況

高知労働局管内の過去10年の労働災害による死亡者数を業種別にみると、建設業が全体の約40%を占めています。

また、平成21年の死亡者数は14名で、平成20年と比較すると8人増と大幅に増加しました。

業種別死亡災害発生状況



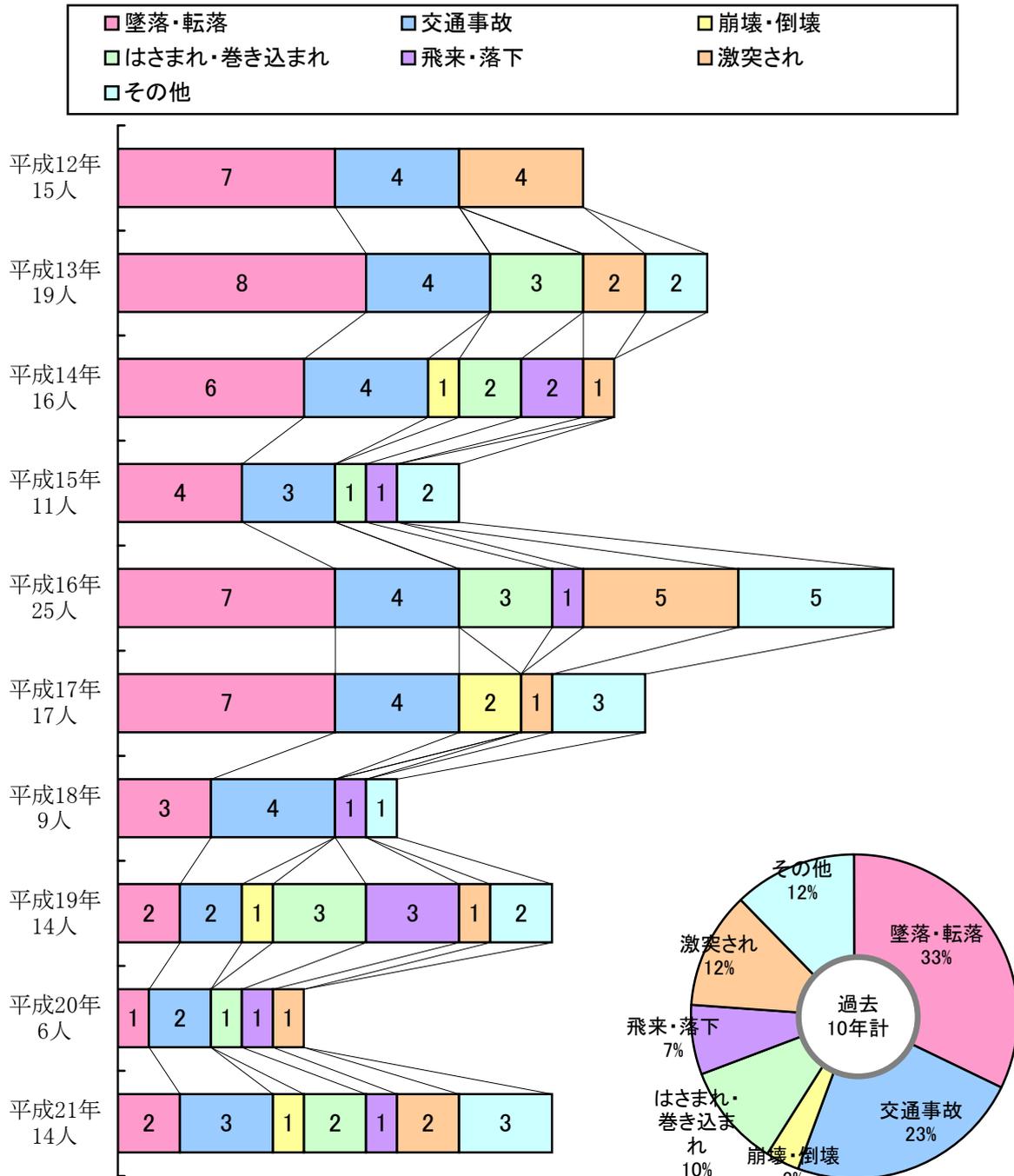
(高知労働局管内における労働者死傷病報告によるもの。)

図3 死亡災害の事故の型別発生状況

高知労働局管内における過去10年の死亡災害を事故の型別にみると、「墜落・転落」によるものが最も多く約33%、次いで「交通事故」によるものが約23%となっています。

また、平成21年の死亡災害は、「交通事故」によるものが多く発生しています。

事故の型別死亡災害発生状況



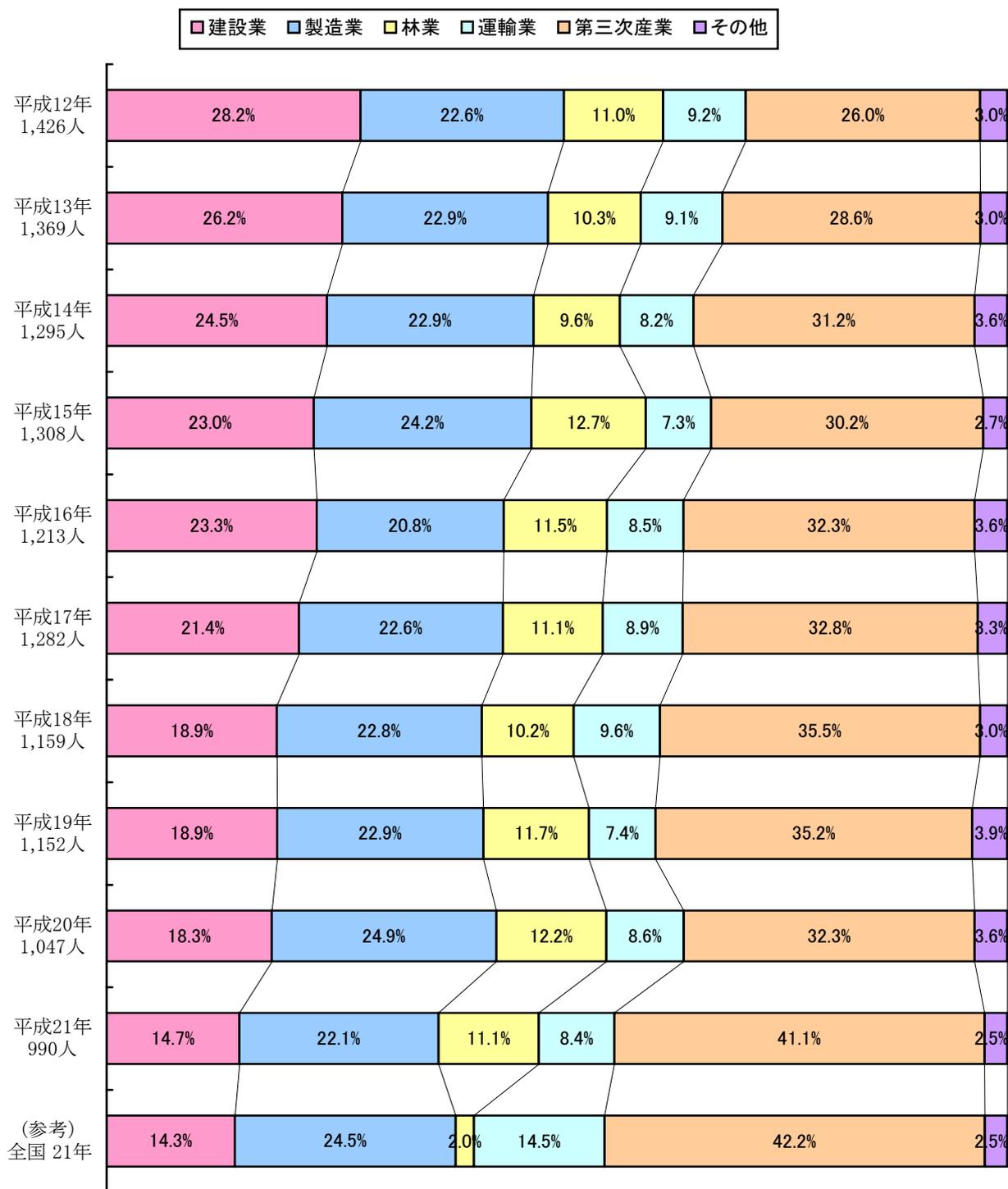
(高知労働局管内における労働者死傷病報告によるもの。)

図4 休業4日以上之死傷災害の業種別災害発生状況

平成21年の労働災害（休業4日以上）を業種別で見ると、製造業が22.1%、建設業が14.7%となっています。

また、産業構造の変化に伴い、第三次産業の占める割合が増加する傾向にあり、41.1%となっています。

業種別労働災害発生状況

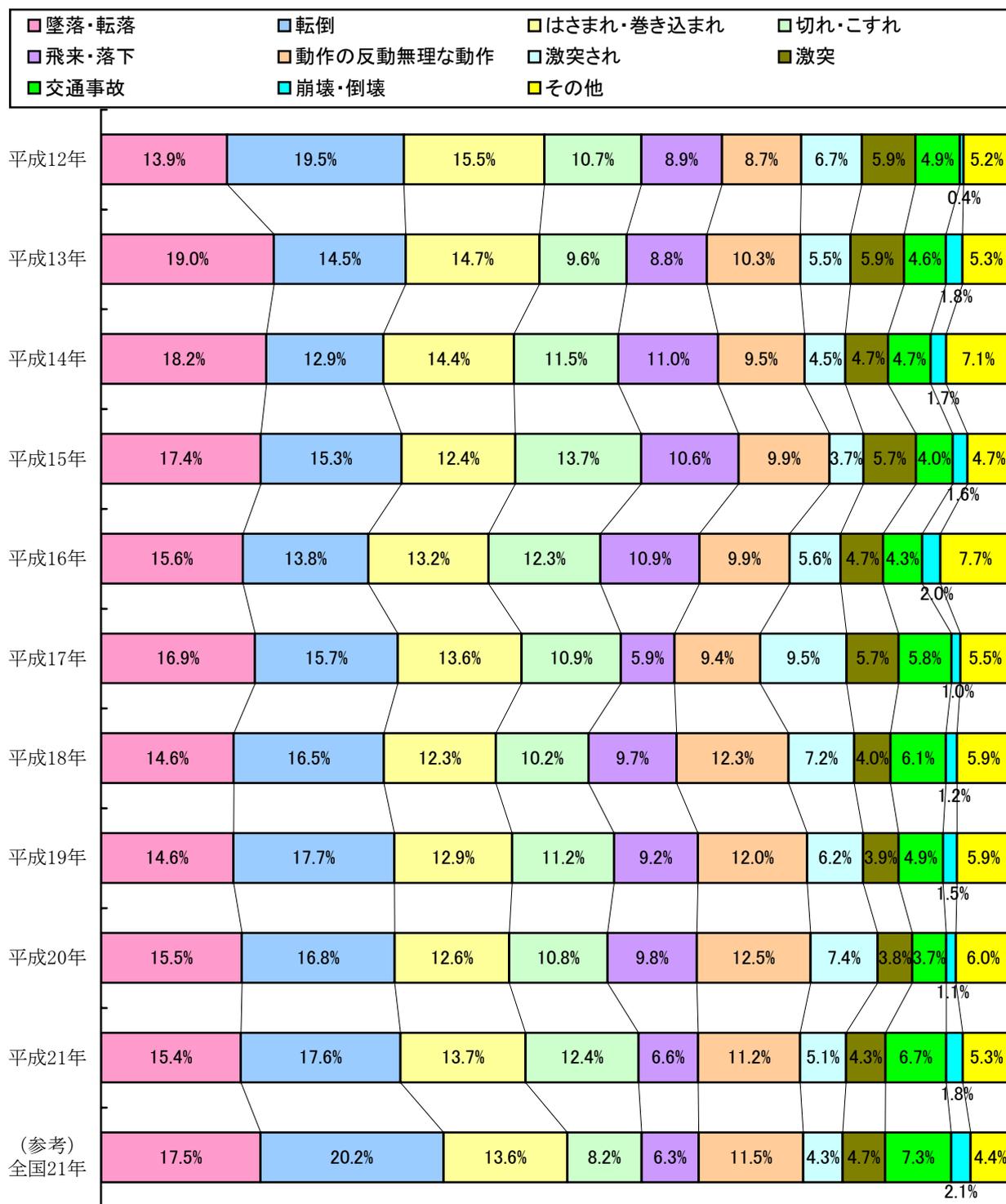


(平成16年までは労災保険データ、平成17年からは労働者死傷病報告による。)

図5 休業4日以上之死傷災害の事故の型別発生状況

平成21年の労働災害(休業4日以上)の発生状況を事故の型別にみると、「転倒」による災害が最も多く(17.6%)、次いで「墜落・転落」によるもの(15.4%)、「はさまれ・巻き込まれ」によるもの(13.7%)の順となっています。

事故の型別労働災害発生状況(年別)
(休業4日以上)



(高知労働局管内における労働者死傷病報告によるもの。)